

2020年9月15日

「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、令和2年秋の全国交通安全運動の実施にあわせ、北海道運輸局、北海道、北海道警察、交通関係協力団体のご協力をいただき、踏切事故の防止を図るため9月21日から「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」「車が動かなくなった時には非常ボタンや発炎筒等で列車に知らせる」ことなどの呼びかけを行います。



踏切事故防止キャンペーンの様子

■実施期間

2020年9月21日(月)から9月30日(水)までの10日間

■実施内容

- ・小中学校・幼稚園等を訪問して呼びかけ
- ・列車内での業務用放送での呼びかけ
- ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問して呼びかけ
- ・ラジオCMの放送
- ・札幌駅、函館駅、岩見沢駅でのデジタルサイネージによる踏切事故防止の呼びかけ

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方と接触する駅構内・踏切等での啓発活動は中止します。

<2020年度の踏切事故>

9月10日時点における踏切事故は発生しておりません。2019年度の同時期と比べ、1件の減少となっています。このほか、事故には至っておりませんが、車が踏切内に閉じ込められたり、踏切の直前横断により列車が緊急停止した件数は9月10日時点で133件発生しています。踏切手前での確実な一旦停止と安全確認など、基本的な交通ルールを守ることで踏切事故をなくすことができます。

また、踏切内で車が動かなくなった時には、踏切の非常ボタンや車の発炎筒 ※等で列車に知らせることが大切です。

※発炎筒は「道路運送車両の保安基準」により自動車に装備を義務付けられています。